

創薬薬理フォーラム 第26回シンポジウム

日時：平成30年10月11日(木)～12日(金)
会場：日本薬学会 長井記念館 ホール（東京都渋谷区）

10月11日(木)

受付 12:30～

<フォーラムディスカッション> 「遺伝子をターゲットとした創薬技術の進歩」
13:00～15:10 モデレーター：田中 利男（三重大学）、吉川 公平（田辺三菱製薬）

- * 「免疫細胞へ効率的な核酸送達技術の開発」
上原 啓嗣（協和発酵キリン株式会社 核酸医薬研究所）
- * 「エクソソーム創薬の可能性」
落谷 孝広（国立がん研究センター研究所、東京医科大学）
- * 「ゲノム編集を活用した創薬の展開」
竹澤 慎一郎（株式会社セツロテック、徳島大学藤井節郎記念医科学センター）
- * 「ゲノム編集による血友病治療の試み」
大森 司（自治医科大学医学部生化学講座病態生化学部門）
- * 総合討論

新薬 <1> 「抗A β プロトフィブリル抗体 BAN2401 の臨床開発 (仮)」
15:30～16:20 八木 拓也（エーザイ株式会社 ニューロロジービジネスグループ）(仮)

新薬 <2> 「抗IL-5受容体抗体ベンラリズマブの研究開発」
16:20～17:10 小池 正道（協和発酵キリン株式会社）

特別講演<1> 「難病プラットフォームの取り組みと可能性」
17:10～18:10 古澤 嘉彦（国立精神・神経医療研究センター病院 神経内科）

*** 18:00～ 懇親会 ***

10月12日(金)

受付 8:40～

新薬 <3> 「ファブリー病に対する薬理的シャペロン療法」
9:10～10:00 山田 眞路（アミカス・セラピューティクス株式会社）

新薬 <4> 「血液凝固第VIII因子を代替する抗体医薬の創製」
10:00～10:50 服部 有宏（中外製薬株式会社 研究本部）

特別講演<2> 「サリドマイド催奇性のターゲットの発見から創薬への展開」
10:50～11:50 半田 宏（東京医科大学ナノ粒子先端応用講座）

<シンポジウム> 「アルツハイマー病創薬研究の新しい展開」
13:10～15:40 オーガナイザー：谷内 一彦（東北大学大学院医学系研究科）

- * 「認知症治療に向けたタウ凝集阻害剤の開発」
高島 明彦（学習院大学理学部 生命科学科）
- * 「認知症に対する低出力パルス波超音波治療の開発」
下川 宏明（東北大学医学系研究科）
- * 「アルツハイマー病中核・周辺症状を改善する新規治療薬の開発」
森口 茂樹（東北大学大学院薬学研究科 薬理学分野）
- * 「アミロイド脳内蓄積を推定する血液バイオマーカー」
関谷 禎規（島津製作所 田中耕一記念質量分析研究所）

代表世話人： 飯野 正光 遠藤 政夫 主催：創薬薬理フォーラム
加藤 隆一 長尾 拓 事務局 E-mail: soyaku@m.u-tokyo.ac.jp
橋本敬太郎
企画学術担当幹事： 谷内 一彦 吉川 公平 後援：公益社団法人 日本薬理学会